

テーマ: 東アジア、中国語圏の社会と文化を文字・映像などから考察する

【授業の主旨・目標】

本演習では中国・台湾のみならず、東アジア地域、中国語話者の居住する広義の中国語圏の文学、映画、ドラマ、写真、ファッション、流行音楽、アニメなどを通して、それを産み出した社会と文化について考えます。また、テーマの発見、資料の読解、調査と分析、報告といった研究スキルを実践的に復習し、卒業論文の執筆に備えます。

また、中国語のさらなるスキルアップをはかり、中国語で学ぶことに熱く挑戦したい人もお待ちしております。可能な限りサポートします。でも、中国語の学習歴がなくても全然構いませんよ。

【授業計画・方針】

春学期には、東アジア地域、中国語圏の現代文化についての概説書やブックガイド、文芸作品などを輪読して、文化や社会について幅広く知識を増やしていきましょう。その中で自分の関心が持てるテーマを絞っていきます。

秋学期には、自らが選んだテーマについて発表し、参加者どうしで議論を重ね、より深く理解し考えて行きましょう。そして、卒業研究のために計画を立て、必要な作業を進められるよう指導します。

【教科書・参考文献】

受講者の要望や必要に応じて指定します。最近では、岡本隆司『中国の論理』（中公新書、2016）、大東和重『台湾の歴史と文化』（中公新書、2020）、呉明益『歩道橋の魔術師』（河出文庫、2021）を読みました。

【こんな人、お待ちしております】

・資料（文字／映像ほか）に触れるのが好きな人／他の受講生とともに積極的にゼミの活動に関われる人

【最近の卒業研究のテーマから】

- ・映画やアニメーションに垣間見える西洋中心主義と人種差別
- ・『ワンピース』におけるジェンダーと多様性
- ・映画『ハリー・ポッター』に対するイギリスの宗教文化の影響について
- ・中国ドラマにおける「抗日神劇」の意義と課題
- ・ボディビルダーの自伝を読む
- ・日本の美しい黒髪について — 伝統的な黒髪が現代の校則にどう影響したか
- ・犬食文化の現状と歴史 — 犬肉が反対される原因
- ・伝統的祭礼の継承に関する考察 — 長浜曳山祭りを題材に
- ・雑誌『JREA』から読み解く日本と中国の鉄道の関係性
- ・トレンドカラーとは何か — 歴史・決定・普及



面談希望者はここから

【面談希望者へのお願い】

・基本的に対面で面談します。面談希望者は必ずメール[twada@fsc.chubu.ac.jp]にて予約を取ってください。遅くとも 24 時間以内には返信いたします。

・メール本文には、以下の項目について記入してください。

- ①学籍番号＋氏名、②面談希望日時、③本ゼミ志望の理由（400字以内）、④ゼミで取り組んでみたいこと（400字以内）、⑤その他（Zoom面談、1対1の面談を希望する場合など）